

教えてドクター

一生に一度は“肝炎ウイルス検査”を受けましょう

“ウイルス性肝炎”とは

「肝炎ウイルス」は、肝臓の細胞に感染し、炎症(肝炎)を引き起こすウイルスです。肝炎ウイルスによる肝炎を“ウイルス性肝炎”といい、A型からE型まであります。特にB型とC型は持続的に感染し、慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと進行するリスクが高く、感染者も多いことから「国民病」として国も対策に力を入れています。ウイルス性肝炎は自覚症状がほとんど無いため感染に気づかず、知らないうちに病気が進行します。B型肝炎、C型肝炎ウイルスは、血液や体液を介して感染しますが、日常生活の会話や握手、食事などで感染することはほとんどありません。蚊に刺されて感染することはありませんのでご安心ください。

“肝炎ウイルス”の検査と治療

感染の有無は、血液検査で診断できるので、一生に一度は肝炎ウイルス検査の受検をお勧めします。特に輸血や大きな手術を受けたことがある、家族に感染者がいるなどしたら、かかりつけ医に相談したり、保健所や一部医療機関で無料検

査が受けられたりするのでお問い合わせください。鹿児島大学病院肝疾患相談センターのホームページに無料検査が可能な医療機関が掲載されていますので、ぜひご覧ください。 ホームページ



ウイルス性肝炎の治療は劇的に進歩しました。C型肝炎は飲み薬だけで治る時代となり、2、3カ月の内服で95%以上の確率でウイルスを体内から消せます。B型肝炎ウイルスは飲み薬で消せませんが、進行を抑えたり遅らせたりすることができ、どちらも副作用は少なく安全に治療でき、医療費負担を軽減する助成制度もあります。

ぜひ、皆さん肝炎ウイルス検査を“一生に一度”は受検し、病気の早期発見・早期治療につなげてください。

DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 肝疾患相談センター
副センター長 小田 耕平 先生



《B型・C型肝炎が原因の肝がんや 重度肝硬変で治療中の方へ》

治療2カ月目から、入院も通院も「自己負担 月1万円」へ!

(助成対象となる主な要件)

- ☐ B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変と診断されている
 - ☐ 年収約370万円以下である
 - ☐ 肝がん・重度肝硬変の入院治療または肝がんの通院治療を受けている
 - ☐ 高額療養費算定基準額を超えた月が、過去2年間で2カ月以上ある
- ※すべての要件に該当する方は、申請することができます!

詳しくは鹿児島大学病院肝疾患相談センターホームページでご確認ください。

鹿児島大学病院肝疾患相談センター→

